

日立市の人口構造

～シニアは老い易く学成り難し一寸の光陰軽んずべからず～

日立市の人口は市のホームページに毎月更新して公表されている。詳しい地区別・年齢別統計データも半年毎に発表されている。

1. 日立市の人口構造

昨年10月1日現在の市の人口は17万8千203人で、1年前の平成30年から約3千人の人口減少となっている。下図グラフは5歳毎の人口を棒グラフで示したものだ。このグラフを見て特長的なことにすぐ気が付くであろう。65歳以上のシニア層が40歳以下の世代より圧倒的に多いのである。そして寿命も人生100年と高齢者は増々増加していくのである。

シニアは心身ともに健康寿命を維持して若い世代の負担にならないよう、自らの人生を、社会のためにと自分のカラに閉じこもらずに生きたいものだ。

2. 人生100年の時代を迎えて

われわれの若いころ言われた「少年老い易く学成り難し一寸の光陰軽んずべからず」と。12世紀の中国朱子の言葉だ。織田信長が「人生50年・・・」と謡曲「敦盛」の一節を舞いながら合戦に出たという。その時代の人生は長く生きて50年と儚いものだ、思い切り人生を生きよ、と悔いのない合戦に出る覚悟を示したものの、とされている。

正に現代は「シニアは老い易く学成り難し一寸の光陰軽んずべからず」だ。自分の人生は、先人・先輩たちの大いなるものに生かされていることに気づき、これからも日々学び、精一杯に生きたいものだ。

パソコンのハードやアプリなども日々に進化している。より便利に使いやすくなっている。ICT技術をシニアの生活に活かしていかなければならない。

